

もくぞうだいにちによらいぎぞう
95. 木造大日如来座像

■ 指定日

昭和60年4月23日

■ 種別

有形文化財 彫刻

■ 年代

鎌倉時代後期～室町時代

■ 所在地

朝来市石田

■ 所有者

金剛院



■ 内容

金剛院庫裡持仏の本尊で、智拳印を結ぶ端正な金剛界大日如来像である。
台座その他は後世のものであるが、仏本体は享保13年(1728)寺焼失以前の姿である。